

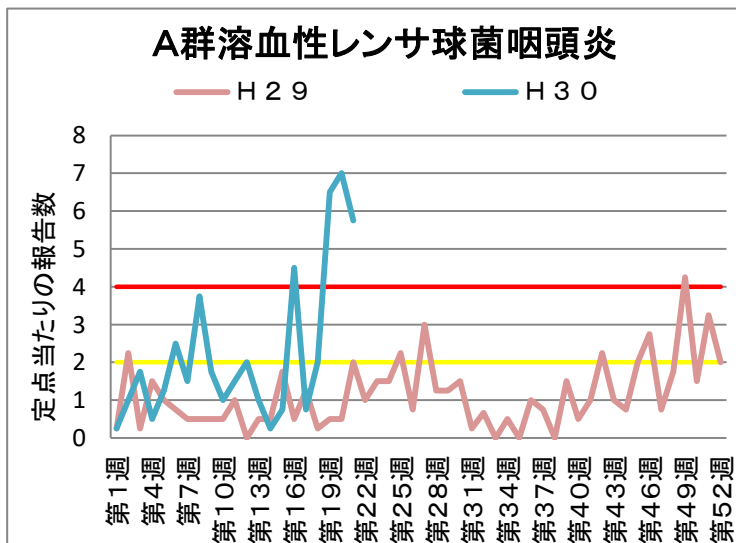
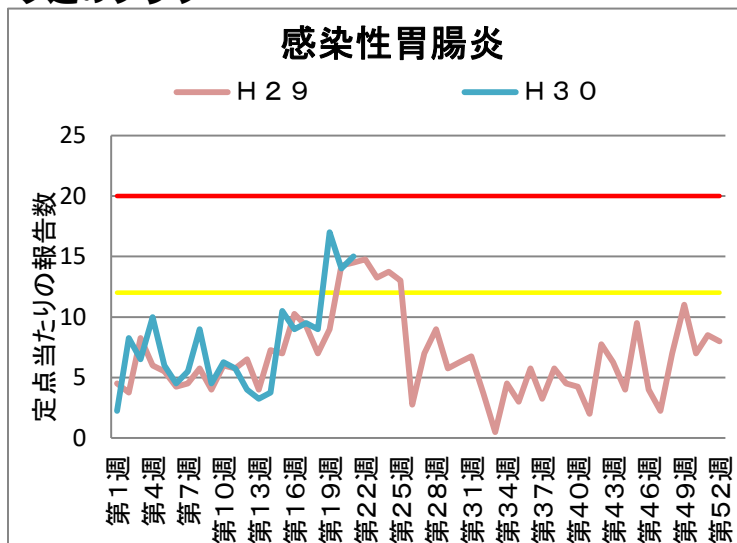
# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 21 週 平成30年5月21日 ~ 平成30年5月27日

## 今週のコメント

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告はやや低下しましたが、流行警報基準値を超えています(定点当たり5.75)。
- 咽頭結膜熱の報告が増加しています(定点当たり2.00)。咽頭結膜熱はアデノウイルスの感染により、発熱、のどの痛み、結膜炎などの症状がみられる小児に多い感染症です。例年5月中下旬に増加し始め、7月下旬から8月上旬をピークに流行が見られます。プールでの感染も多いことから、プール熱とも呼ばれます。咽頭結膜熱の感染経路は飛沫感染又は手指を介した接触感染です。手洗いとうがいを励行し、タオルなどの共用は避けましょう。
- 感染性胃腸炎の報告も横ばいで、注意が必要です(定点当たり15.00)。

## 今週のグラフ



\* ——— 流行警報基準値です      ——— 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	0.5
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	0.25
咽頭結膜熱	2	突発性発しん	0.5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.75	ヘルパンギーナ	-
感染性胃腸炎	15	流行性耳下腺炎	0.5
水痘	1.25		

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

## 参考資料等

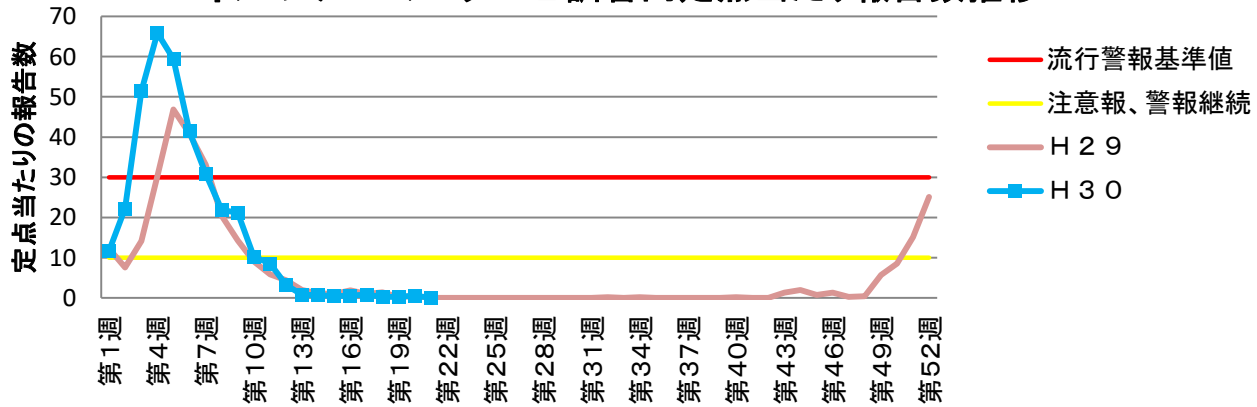
報告週対応表

警報・注意報基準値の説明

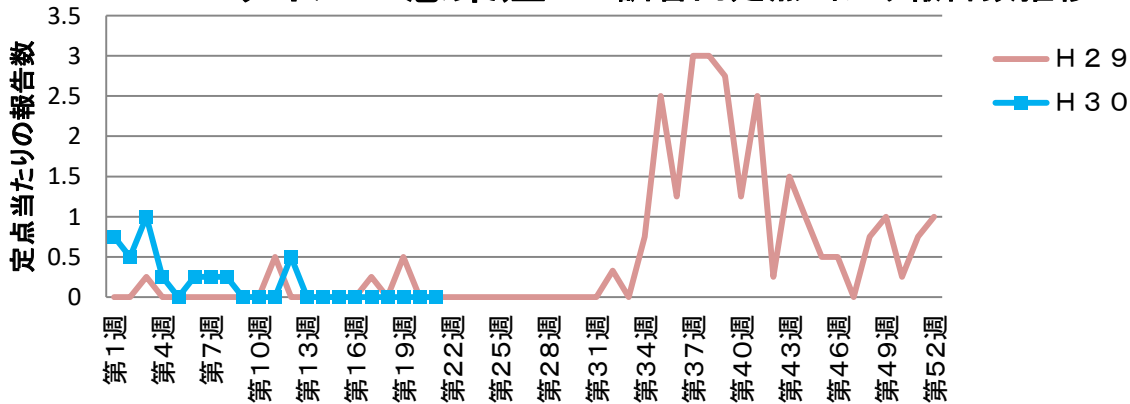
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

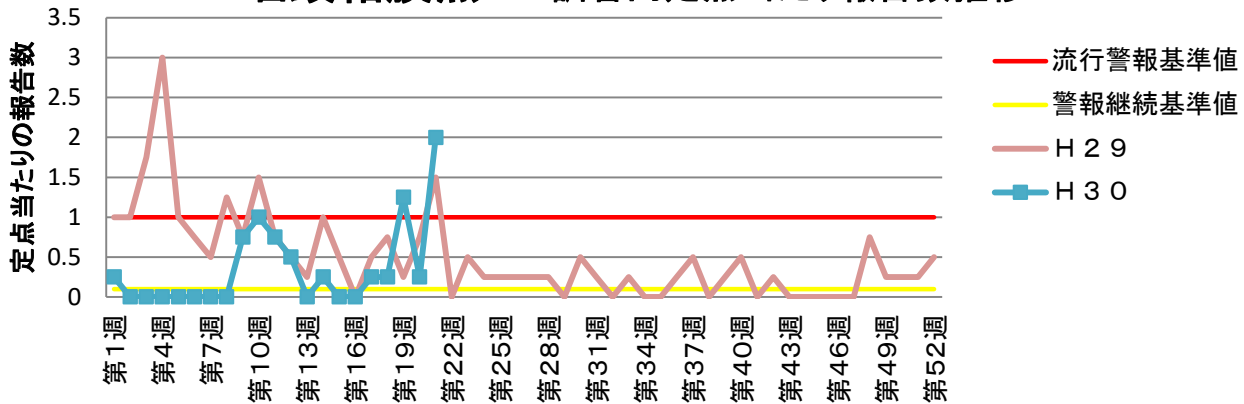
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



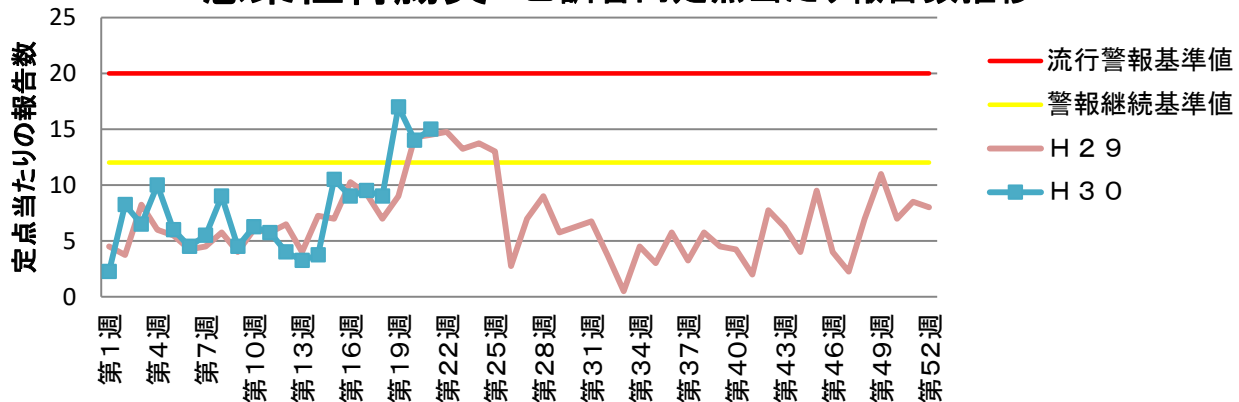
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



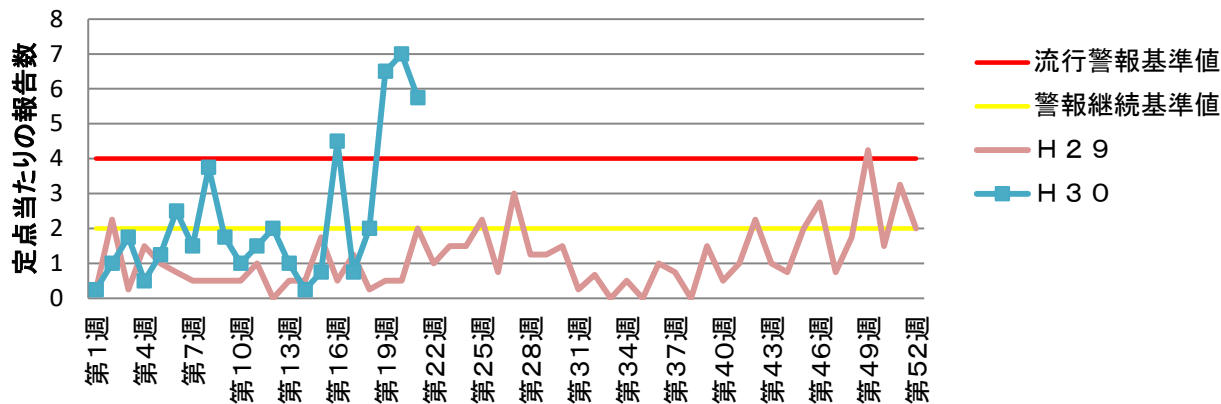
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



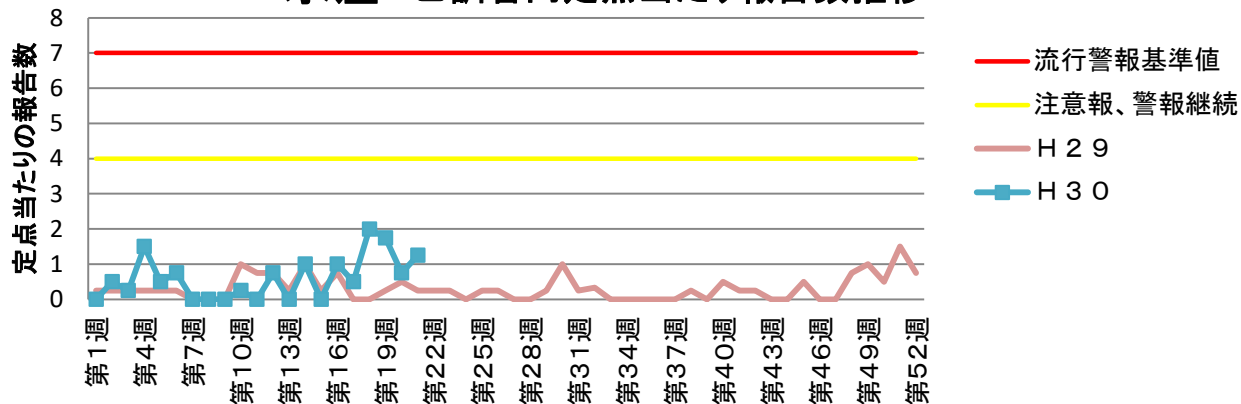
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



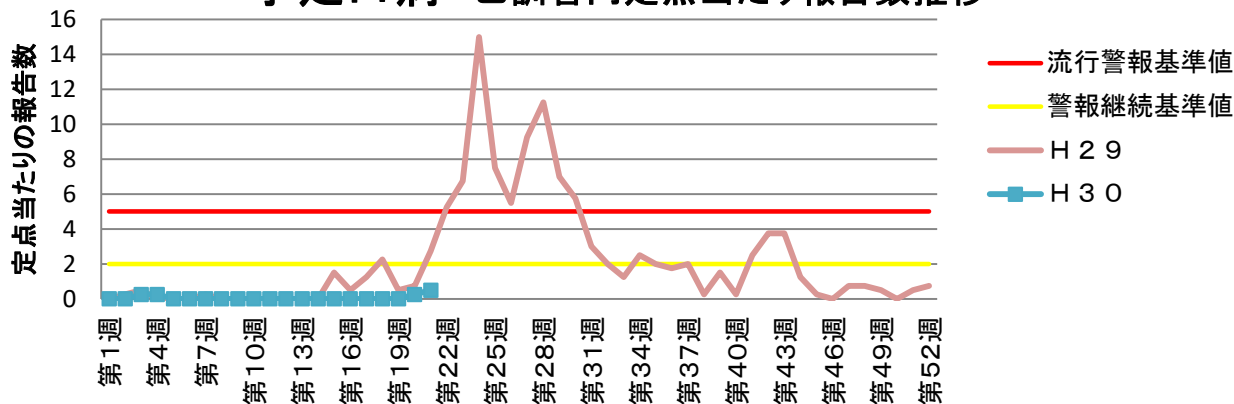
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



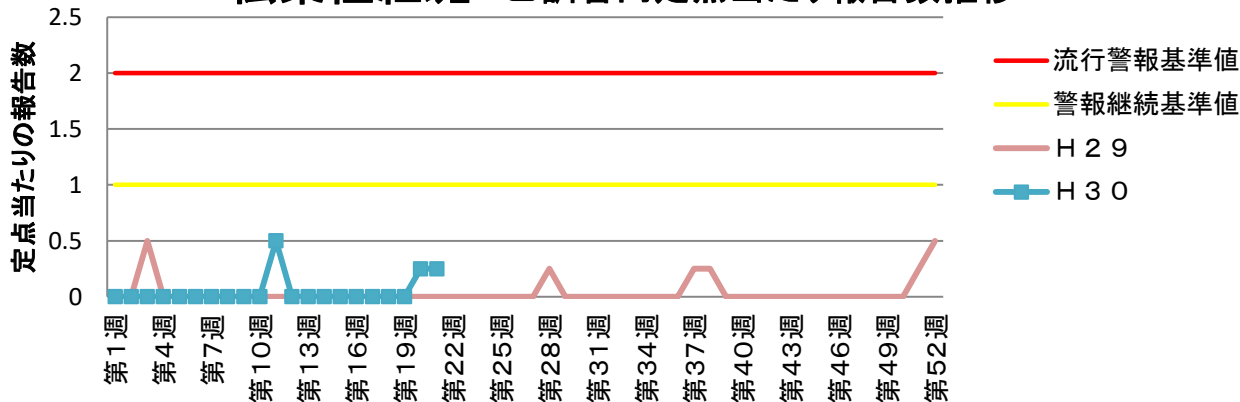
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



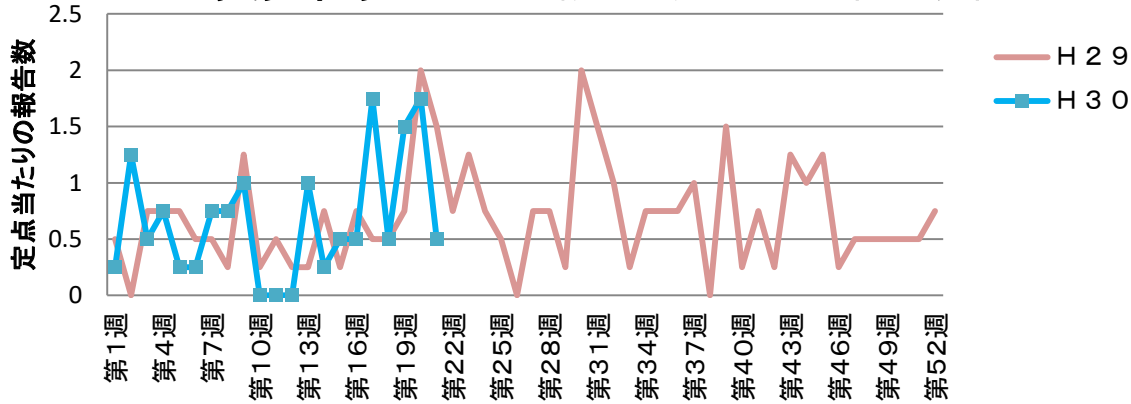
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



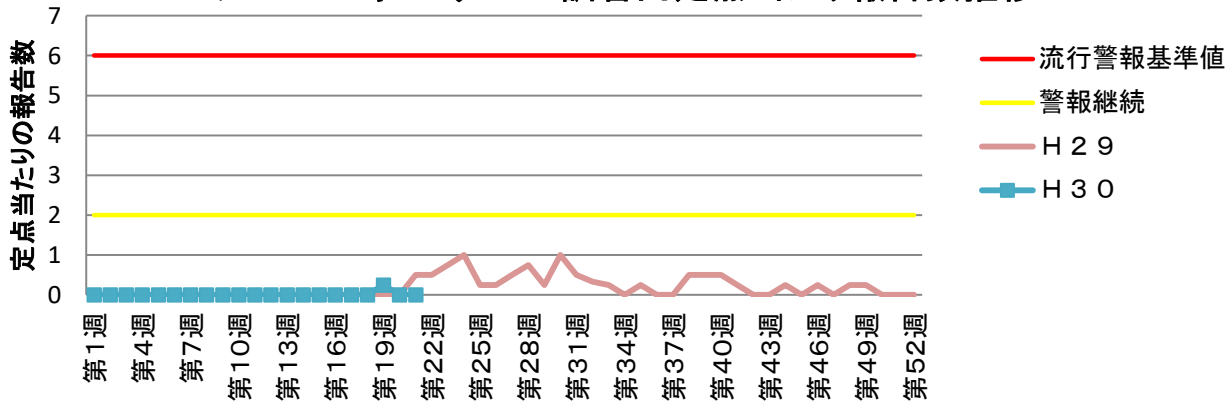
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

